

市税は、まちづくりを進めていく上で大切な財源です。医療・福祉、学校教育、ごみ処理などの環境衛生、道路や上下水道の整備など、身近な公共サービスを提供するために大きな役割を果たしています。今月号では、多くの皆さんに関係の深い、個人市・県民税についてお知らせします。

## 令和2年度個人市・県民税のお知らせ

# あなたの税が暮らしを支えています

税務課 ☎(88)9124

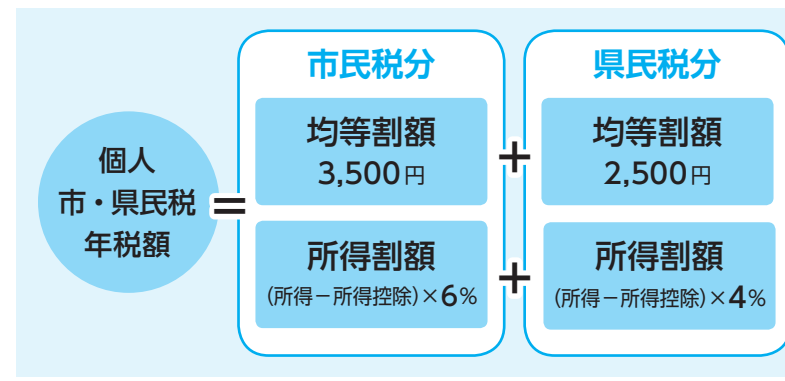
### 税額は均等割額と所得割額の合算

個人の市・県民税は、下の図のとおり、均等割額と所得割額を合算して算出します。  
**均等割額** 市の行政サービスに要する経費の一部を皆さんが均等に負担するもの  
**所得割額** 前年の所得金額から、社会保険料控除額などを差し引いた金額(課税所得金額)に税率10%(県4%と市6%)を乗じたもの  
**課税基準日は1月1日**  
 令和2年度の納税義務者は、平成31年1月1日から令和元年12月31日までに一定の所得があった人で、令和2年



皆さんからの税で市政が運営されています

1月1日に市内在住の人、または、市外在住で市内に事業所や家屋などを持つ人です。



### 納税方法は特別徴収と普通徴収

#### 給与からの特別徴収

会社などの徴収義務者が、個人市・県民税を給料から差し引いて納めます。法令該当の事業主は、全て特別徴収義務者に指定されます。

#### 公的年金からの特別徴収

全ての公的年金の所得に対する税額は、特別徴収の対象となり、年金から徴収されます。公的年金以外の所得があるときは、「給与からの特別徴収」または納付書で納める「普通徴収」となります。

#### 普通徴収

農業や自営業の人、給与や年金から市・県民税を差し引くできない人は、年4回(6月・8月・10月・1月)それぞれ、納付書や口座振替で納期限までに納めます。  
 納付方法など、詳しくは税務課にお問い合わせください。  
 ※納税通知書は6月中旬に郵送します。

### 軽自動車税の納期限は

# 6.1(月)です



軽自動車税(種別割)は、毎年4月1日現在に登録のある車両の所有者に課税される税金です。  
 新規検査(車検)から13年を経過した車両は、経年重課の税率(標準税率より約20%の増税)が適用されます。

☎税務課 ☎(88)9124

## 令和2年度水道・下水道事業会計予算

# 安全・安心な

# 水環境を目指して

経営課 ☎(63)7118

水道・下水道事業では、水道料金や下水道使用料などを基に、水道水の安定供給と適正な汚水処理を行っています。今月号では、各事業ごとの令和2年度予算をお知らせします。

## 令和2年度水道事業会計予算

水道事業会計の予算は、施設の維持管理など、事業を営むための「収益的収支」と、施設を整備するための「資本的収支」で構成しています。

収益的収支は、本年度の事業計画(表1)を基に編成し、収支差額は1億1187万円、消費税額を除く純利益は、1184万円を見込んでいます。

資本的収支の不足額7億3297万円は、収益的支出のうち実際の現金支出を伴わない減価償却費などから生じる損益勘定留保資金や消費税資

●表1 事業計画

区分	令和2年度	令和元年度	前年度比
給水人口(人)	68,470	68,850	△0.6%
給水件数(件)	27,951	27,700	0.9%
年間総給水量(mi)	7,291,249	7,402,800	△1.5%

本的収支調整額で補てんする予定です。  
 収益的収支と資本的収支の予算額は表2のとおりです。

●表2 水道事業会計予算

区分		令和2年度	令和元年度	前年度比
収益的	収入	19億2,660万円	18億5,685万円	3.8%
	支出	18億1,473万円	17億5,298万円	3.5%
	収支差額	1億1,187万円	1億387万円	7.7%
資本的	収入	9億6,646万円	10億9,909万円	△12.1%
	支出	16億9,943万円	17億9,098万円	△5.1%
	収支差額	△7億3,297万円	△6億9,189万円	△5.9%

令和2年度から下水道事業は、水道事業と同じ「企業会計」に移行し、「下水道事業会計」となりました。  
 「収益的収支」と「資本的収支」で予算を編成し、経営健全化や計画性・透明性の確保に努めます。

## 令和2年度下水道事業会計予算

収益的収支は、本年度の事業計画(表3)を基に編成し、収支差額は1億570万円の不足、消費税額を除く純損失は、1億1318万円を見込んでいます。  
 支出の中には、現金支出を伴わない減価償却費など1億5177万円が含まれていま

●表3 事業計画

区分	令和2年度
接続戸数(戸)	16,800
年間総排水量(mi)	435,200

●表4 下水道事業会計予算

区分	令和2年度	
収益的	収入	21億2,543万円
	支出	22億3,113万円
	収支差額	△1億570万円
資本的	収入	14億3,192万円
	支出	18億6,711万円
	収支差額	△4億3,519万円

- ※1 収益的収支  
施設の運転・管理・修繕など、事業を営むための経費とその財源
- ※2 資本的収支  
施設を建設・整備するための経費とその財源
- ※3 減価償却費  
施設などの資産価値の目減り分を毎年の費用として計上したもの
- ※4 損益勘定留保資金  
減価償却費など実際の現金支出を伴わない自己財源
- ※5 消費税資本的収支調整額  
資本的支出に係る消費税から資本的収入に係る消費税を差し引いた額

すので、直ちに資金不足となるものではありません。  
 資本的収支の不足額4億3519万円は、減価償却費などから生じる損益勘定留保資金や消費税資本的収支調整額で補てんする予定です。  
 収益的収支と資本的収支の予算額は表4のとおりです。